



2023
製品安全対策優良企業
経済産業省



Company Profile

会社案内



OGK KABUTO Co., Ltd.

Philosophy

私たちの理念 — 品質と心質 —

Quality of Heart

時代とともに変化するスタイル。

さまざまなニーズに応えるため

わたしたちはあらゆる「声」に耳を傾け、

ヘルメットに欠かせない「安全」という

基本性能の進化をつねに心がけています。

温かい「心」と思いやりの「心」を持ち、「ものづくりへのこだわり」を胸に。

子どもから大人まで、あらゆる人々が安心・安全な暮らしをしていただくために。

そして、やさしさであふれる未来のために。

VISION

SAFETY MEETS
STYLE

“かぶるヘルメット”
から
“着るヘルメット”へ

MISSION

SAFETY MEETS
SMILE

すべての人に
“安全と安心”を
提供するメーカー

VALUE

SAFETY MEETS
SPIRITS

すべてのお客様に
こだわる
カブトスピリッツ

代表あいさつ

わたしたちは“Quality of Heart”～品質と心質～を企業理念に掲げ、
すべての人々に安全と安心を提供するメーカーとして
心を込めて良質な製品を創ることを心がけています。
絶えず問題意識と、つねに向上心を持ちながら。
支えてくださるあらゆる人々に感謝し
これからもお客様の笑顔とともに走り続けてまいります。

株式会社オージーケーカブト 代表取締役会長 木村 秀仁

Mission

Kabuto製品が
提供できるまで

02

プランニング

市場ニーズに応える商品の企画案を作成。すべての人に安全・安心はもちろん、かぶる楽しさや快適性、今までにないアイデアで創造しています。

01

市場調査

子育てママとの座談会や、レーシングサービス等でニーズをヒアリング。市場を熟知することでユーザーが欲しいと思う商品開発へ活用しています。

▶詳細はP10へ



03

デザイン

基本思想をもとに、企画を反映させた設計でさまざまなデザインを施しています。使う人の心が躍る、機能性とスタイルの両軸で検討します。

▶詳細はP9へ

04

設計

Kabutoだからこそ提供できる「こだわり」を設計に活かしています。手仕事による造形技術とデジタル、職人技と最先端技術を融合しています。

05

製造・出荷

製品の基本設計完了後は、安全基準試験を繰り返し行います。多くの厳しい試験をクリアした最終仕様の製品を、工場で量産。完成した商品の検品を行い、出荷しています。

▶詳細はP8~9へ

ユーザーの声に応え、
すべての人のいのちを守るセーフティーギアを提供する

市場にはたくさんの方があふれています。

「何よりも大切なわが子を守りたい」「安全快適にツーリングを楽しみたい」

「自分の好きなスタイルを表現したい」

すべての人に安心と安全を提供しながら、できるだけ多くの声に応えたい。

そんな想いで商品開発に向かっています。

06

販売

製品は全国のオートバイショップ、二輪用品、自転車専門店やWEBで販売されます。製品の機能性や取り扱い方法を詳しく伝えるため店員の方々へ定期的に研修会も行っています。

07

ユーザーへ

フィールドでは様々なシーンでKabuto製品が活躍しています。Kabutoは安心して使える安全ギアの提供、笑顔を守るかぶる楽しさを、これからも追求してゆきます。

Challenge

Kabutoの歩み

今までも、これからも、Kabutoの挑戦は続く

オージーケーカブトは1982年に設立し、40年以上ヘルメットを作り続けてきました。常識にとらわれず、つねに一步先の挑戦を。それがKabutoの原点であり、今なお持ち続けている信念です。



▲1986年当時のヘルメット着用義務ポスター

1986

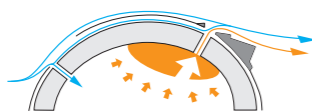
オートバイヘルメットの着用義務化に伴いヘルメットメーカーとして歩み始める

法令化を前に原付バイク用のヘルメットのラインナップを拡充、販売数を大きく伸ばしヘルメットメーカーとして市場に挑戦する大きな一歩に。自転車部品用品も多様な製品を販売し、自社製一輪車の開発もスタートしました。

1990

多様化するニーズに応えKabuto発の製品を創造

初の自社設計フルフェイスを開発・販売。「負圧ベンチレーション」の開発など空気の流れにも着目。自転車業界では、競技におけるヘルメット着用が義務化。製品にJCF(日本自転車競技連盟)認定を国内初取得しました。



1992

小学校の体育授業に一輪車が正式採用

かねてより販売、教育関連へも啓発活動していた一輪車が、小学校教育指導要領3・4年体育授業の選択科目に採用。TVCMも制作し年間売り上げ10億円を達成。



2007

レースを通じて研究を重ね画期的プロダクトを開発

プロライダーの声をもとに空力デバイス「ウェイクスタビライザー(PAT.)」を開発。自転車用ヘルメット事業では超軽量「モストロ」を発売し、国内スポーツヘルメットの市場を席巻しました。



1998

Kabuto独自のアイデアによる「世界初」機能と製法で製品化

オートバイ用に世界初の空力パーツ「エアロフィン」を採用したヘルメットを発売。サイクル用でも世界的に主流となっている「インモールド成型」方法を発案し製品化しました。



2015

自治体への協力通学用ヘルメットの一斉供給

学生の自転車通学時の事故多発を背景に、愛媛県からの要請を受け様々な準備を協働。県立高校生に対して通学用ヘルメットを一斉供給しました。



2008

チャイルドヘルメット国内シェアトップに

子供用サイクルヘルメットが一般的でない頃より製造販売を行っていましたが、2008年の道交法で子供のヘルメット着用努力義務が施行され「チャイルドメットシリーズ」が一気に販売数を伸ばしました。

※自転車用ヘルメット国内販売個数(SG基準品、自社調べ)



■CH-607(1991年発売モデル)



キッズデザイン賞2020年度審査委員長特別賞受賞



2020

小さなベビーのための最小サイズを開発

国内頭部計測データから必要性を提唱。国内SG基準の最小サイズ規格のヘルメット製作を進め、45cmからのファーストヘルメット「PICOT」を製品化。最小サイズの必要性、着用啓発活動とともに市場に展開。

2016

Kabuto初の金メダルを獲得

リオデジャネイロ五輪自転車トラック競技において「エアロ-SL」を使用したカラム・スキナー選手(イギリス)がKabutoとして初となる金メダルを獲得しました。



Next Future >>>

これからもKabutoはすべての人のいのちを守るために新しい挑戦を続けてゆきます。

シニアの命を守る

ヘルメットに帽子をかぶせるタイプの普段着ヘルメットを開発。シニア層のヘルメット着用率向上を目指し啓発活動も続けています。



企業人、デリバリークルーの命を守る

業務として自転車を利用する方々に対して、企業とともにヘルメット着用促進に協力しています。



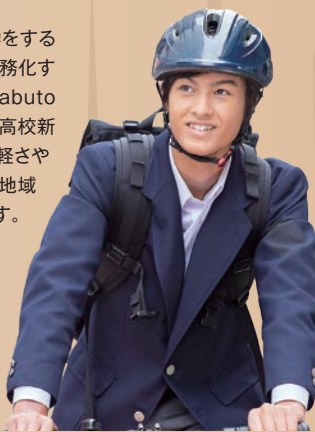
小学1年生「魔の7歳」を守る

自転車乗車時だけでなく、いつでも使用できるヘルメットを開発しています。



学生の命を守る

都道府県の条例により、自転車通学をする高校生の自転車ヘルメット着用を義務化する動きが全国に広がっています。Kabutoは「スクールヘルメット」シリーズの高校新規採用No.1*。安全性はもちろん、軽さや涼しさなどの快適性にもこだわり、地域によって「推奨品」にも選ばれています。



*2021年9月時点 自社調べ



世界最高峰レースに挑む

オートバイの世界最高峰レース「MotoGP™」に挑んでいます。厳しい安全基準を課せられたオートバイヘルメットで、選手とともに性能を磨き続け、ユーザーにフィードバックしていきます。





衝撃吸収試験の様子

SAFETY & PRODUCT

安全性能は一番重要な「当たり前」であること

セーフティギアであるヘルメットは、万が一の事故が起きた時初めて役割を果たします。それはいつ、どんな状況で起こるのかわからないからこそ、いつでも役割を果たせる安全性能が必要不可欠なのです。



製造・生産へのこだわり

製造から検品、出荷までを徹底管理

東大阪と中国の青島に工場を構え、しっかりと管理されたオペレーションのもとで、部品製造から組み立てまでを行っています。工程の流れの中で問題点を把握すればすぐに改善し、日々の品質向上に繋げています。

妥協しない安全・品質管理を実現

お客様の安全のため、厳しい品質点検に加え、完成品を抜き取っての性能試験の実施など、妥協のない厳しい自社安全基準を設けています。高い安全性を保ちながら、安定した品質を実現しています。

安全性能へのこだわり

万が一の事故に起こり得るリスクを考え、様々な安全性能試験を繰り返し実施しています。あらゆる試験データを蓄積し、日本だけでなく世界の安全基準をクリアするヘルメットを開発・製造しています。

各商品が安全・安心を証明するさまざまな認証を取得しています。



STYLE

かぶるヘルメットから着るヘルメットへ

ヘルメットは“万が一”に備えてふだんから着用するものだから。進化するスタイル志向の市場ニーズに応え、ひとりひとりの「好き」に出会える。そんな想いで「デザイン」に向かっています。



機能とデザインへのこだわり

Point

まさに、デザインはデジタルの力と開発者の技術の、英知の融合。それにより、独創的な機能美と様式美を兼ね備えたヘルメットが誕生します。



耐貫通性試験

円錐形のストライカーを落下させ耐貫通性を確認するための試験。



ロールオフ試験

転倒時などに脱げ落ちることがないように保持性を確認するための試験。



顎紐引張試験

あご紐の脱落や伸長、バックルの破損の有無を確認する試験。

Point

最も重要な衝撃吸収試験は、暑い日や寒い日、雨の日など様々な環境を想定して繰り返し行います。厳しい安全性能試験をクリアしてはじめて、安全・安心を証明できるのです。



定期的に企画会議が実施され、マーケティングデータに基づいた様々な意見交換が活発に行われます。



企画コンセプトをもとに自社デザイナーの手でモックアップ(模型)を製作。造形と機能の融合美を追求します。



手削りのモックアップで造形について検討を繰り返し、3Dスキャナーでデジタルデータに変換します。



CFD(3次元数値流体解析)などのデジタル技術を駆使してデータ検証。細部まで調整します。

MARKETING RESEARCH

ユーザーの声にしっかりと耳を傾ける

子育てママやアスリート、販売店の店員からエンドユーザーまで、すべての部署・チームで徹底してユーザーの意見を直接聞くことを大切にしています。それらの集約された「声」がKabutoの開発を支えるノウハウとなります。

Commitment Kabutoのこだわり



レースのサポートでヒアリング

アスリートに寄り添う「レーシングサービス」

各地のオートバイレースや自転車競技の会場に出向き、Kabutoヘルメットを使用しているアスリートのサポートも行っています。ヘルメットのチェックやクリーニング、部品交換など、選手たちがレースに集中できるセッティングを行い、ポテンシャルを最大限に活かせる環境を整えています。

レースサポートからつながる商品開発

サポート契約選手のニーズは日々ヒアリング。さらに、レースで転倒したヘルメットは回収し、研究開発チームで検証しています。サポートを通じて得た様々なデータをもとに、極限状態に耐えうる性能と品質、世界に通用する最先端技術や最新素材を使った商品開発を行っています。

Kabuto仕様のレーシングサービスカーでレース会場へ駆けつけます。



提携保育園やイベントでヒアリング

子育てママとの定期イベント

子育てママの意見を聞くため、座談会の開催やイベントに協力。赤ちゃんの快適性やかぶせやすさ、かぶせなくなるデザインなどもヒアリング。エンドユーザーのリアルな声がチャイルド用ヘルメットの原点となります。



提携保育園と協力した定期的な頭部の測定会

実際に測定すると子どもたちの頭は予想以上に個人差が大きいことが分かりました。その経験から、日々変化していく子どもの頭の大きさ、形を知ることが何より重要と考え、提携している保育園で継続的に頭部計測を行っています。

モニターや販売店からヒアリング

プロトタイプ段階でモニターの声聞く

開発途中で、モニターの方に試作品を実際に体験してもらうことも。実際のかぶり心地や、かぶった時の見え方、色や形がユーザーの暮らしにマッチするかどうか。実際に商品を使う立場からの意見を大切にしています。



販売スタッフの皆様からもユーザーの声聞く

販売スタッフの方々にもKabutoヘルメットを知っていただくため、定期的に店舗訪問や研修会なども行っています。その際にお客様からいただいた意見・要望もヒアリング。現場の声を集めながら、安全・安心なヘルメットづくりを行っています。

Commitment Kabutoのこだわり



PUBLIC RELATIONS

ヘルメット着用文化の醸成もトップメーカーとしての務め

キッズからシニアまで、自転車利用者すべての命を守るヘルメットの着用文化を醸成すべく「カブト、かぶろ。」のスローガンをかけ、講演会や展示会など広報活動も行っています。ヘルメットの正しいかぶり方や選び方、安全基準についてなど、安全・安心な暮らしを送ってもらうための啓発活動にも注力しています。

行政との連携

ヘルメット着用の普及啓発に共に取り組むべく2016年、大阪府と協定を締結。府民の安全・安心の向上に貢献しています。



市民大会等での安全講演活動



交通安全指導員への講習



イベント協力等警察との協働



他にも様々な活動を通して、地道な広報・啓発活動を継続しています。

園児への「初めての2輪教室」の実施協力



Business Contents

すべての人に
安全で快適な
走りを

Motorcycle Helmets

オートバイ用ヘルメット P.13 >>

すべてのライダーが追い求める理想のために、Kabutoは安全性と快適性を独自の先進技術で実現。研究と検証の積み重ねで多様化するニーズに価値を提供します。



Sports & Daily bicycle Helmets

スポーツサイクル用
街乗り自転車用ヘルメット P.14 >>

お子様からお年寄りまで、気軽に便利な乗り物として、またスポーツとして。自転車を安全で快適にするため、黎明期から培ってきた技術と品質を提供します。



School Helmets

通学用ヘルメット P.15 >>

通学時の交通安全についてはまだまだ課題があります。私たちは児童生徒の命を守るために、負担を減らす快適性と最新のスタイルを、未来のために届けます。



Motorcycle Helmets

オートバイ用ヘルメット



何よりもライダーのために。チャレンジャー精神で切り拓く。

レーシングヘルメット



MotoGP™をはじめ国内外の最高峰モーターサイクルレースでも使用されているコンペティション対応モデル。

Racing

フルフェイスヘルメット



培ってきたノウハウをもとに、軽さと高い通気性を実現。通話ガジェットなどにも対応、快適性も進化させているフルフェイス。

Fullface

システムヘルメット



多様化するモーターサイクルライフ、ツーリングスタイルのニーズに応え、利便性と快適性を提供するシステムタイプ。

System

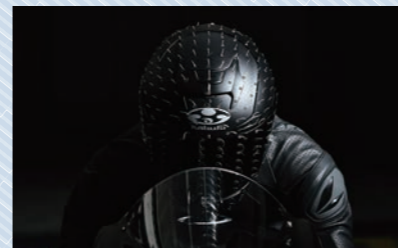
オープンフェイスヘルメット



心地よい風を感じる気軽なスタイルでなおかつ安全・安心を追求。使い勝手の良さや多様なニーズに応えるオープンフェイス。

Openface

Approach ユーザビリティへの取り組み



エアロダイナミクス先駆者の誇り

業界のスタンダードとなっているエアロダイナミクスについて、Kabutoは早くから風洞実験設備を用いて研究を行っています。



常にライダーファーストであれ

過酷なレース現場におけるサポート活動を行うレーシングサービスチームを通し、常に開発研究を行い、製品にフィードバックしています。



プロフィッティングサービス

個々に応じたきめ細かなフィッティングを行うため、研修を受けた国内認定店の専門スタッフによるフィッティングサービスを行っています。

Sports & Daily bicycle Helmets

スポーツサイクル用
街乗り自転車用ヘルメット



School Helmets

通学用ヘルメット



すべての人の安全なサイクルライフを、一生涯守っていくために。

スポーツサイクルヘルメット

安全性能はもちろん、競技で求められる軽さ、通気性、フィッティングなどストレスフリーな性能のスポーツタイプ。

Sports Style

アーバンスタイルヘルメット

あらゆる世代の日常、笑顔を守るために。街中に溶け込むデザイン、カラー、スタイリングを追求したシティ向けタイプ。

Urban Style

チャイルドヘルメット

すべての子どもを守るため、法律で着用努力義務が制定(平成20年)される前から作り続けている子ども用ヘルメット。

Childmet

帽子タイプヘルメット

軽快車など普段使いのため安全規格はそのままに、帽子をかぶせるアイデアを実現した、ファッションヘルメット。

Hat Style

Approach / ユーザービリティへの取り組み



競技へのサポート

「日本自転車競技連盟」や「日本パラ陸上競技連盟」のオフィシャルスポンサーとして協力。日本ナショナルチームも着用しています。



すべての人の安全・安心のために

“かぶる”から“着る”という発想からデザイン性にこだわり、赤ちゃんから学生、シニア世代まで。数多くの商品をラインナップしています。



企業へのアプローチ

従業員の自転車通勤や業務として自転車を使用する企業、デリバリークルーの安全のために。社会課題解決の一助となる提案を行います。

通学時はもちろん、生徒たちのサイクルライフを守る
新世代のための“スクールメット”シリーズ。

スポーツタイプ SB-03

Schoolmet

Kabutoのスクールメットとは?

- ・軽くて丈夫なインモールド成型*
- ・風が通り抜けるエアホールが涼しい
- ・通学時以外でも使いやすいデザイン

スタンダードタイプ SN-13

カジュアルタイプ SB-02

インナーパッドは簡単に取り外して洗えるので、いつでも清潔!

Back

左右後部3カ所の反射ステッカーで夜間の安心感がアップ!

*インモールド成型=高性能スポーツサイクルヘルメットにおける主流の製造方法で、耐久性が高く、軽いので長時間着用時のストレスも軽減。

Approach / 学校・生徒への取り組み

通学用ヘルメットは全て、安全・安心の証明「SG認証」を取得。

国際的な製品安全基準をもとに、日本独自の厳しいテストをクリアした製品のみ与えられるSG認証。Kabutoの通学用ヘルメットはすべてSG基準認定品です。



トップメーカーとしての啓発活動。そして、スクールヘルメットの高校導入実績No.1へ

※2021年9月時点自社調べ

学校や自治体へ「ヘルメットをかぶる文化」の醸成のための活動を行っています。条例により高校生のヘルメット着用義務化を進める4つの県で、Kabutoのヘルメットが推奨品に選ばれています。

学校、自治体への導入もしっかりサポート

全国の代理店、販売店と連携し、商品の提案から販売までスムーズな導入をサポートしています。

※学校様・生徒様への直接販売は行っておりません。



Kabuto Teams

Kabutoの
スペシャリスト

一人ひとりがプロフェッショナル
だからこそできる、
Teamカブトの総合力。

Kabutoヘルメットが皆さまの手に届くまでを支えるのは、各分野のスペシャリストたちです。
よりよい商品を作るために欠かさない日々の鍛錬。
自信を持ってお届けできる安心・安全な商品へのこだわり。
ヘルメットを通して明るい未来をつくりたいという想い。
一人ひとりの個の力が結集して、Teamカブトとしての総合力が生まれます。

購買部

海外の協力工場との連携などを行っている購買部。
商品開発段階から本社開発部と海外工場の間に入り、各部門と協力しながら商品創造につなげています。また、安全基準をクリアした高品質なヘルメットをたくさんのユーザーに届けられるよう、徹底した品質管理も行なっています。

工場の方々と一丸となってヘルメットを作り上げ、お客様の手に届いた瞬間が何よりの喜び。Kabutoヘルメットは、子どもから高齢者まで「人の人生をまるごと守る」商品です。今後は、自信をもって勤められるKabutoヘルメットを海外ユーザーにも提供し、もっと広く世の中に届けていきたいです。

蔣 淳諒



開発部

マーケット調査からそれに基づく商品企画開発、造形デザイン設計(エクステリアデザイン)を行う開発部。
製造・物流・販売すべてが一体となってKabutoヘルメットを生み出している中、開発～デザインの領域で造形・機能・快適性・安全性の全てにこだわり、ユーザーにとってより良い価値を追求しています。

ヘルメットは毎日の日常の中で使うものだからこそ、安全性はもちろん、利便性の高い商品作りを目指しています。まだまだヘルメットをかぶることに抵抗がある人が多いので、「これだったら被りたい」と思ってもらえる商品を開発していきたいです。そのためには、デザインに対してもっと広く携われるように日々勉強中です!

板谷 彩小里

ユーザーから「事故にあったけど助かった」と感謝の言葉を頂いたときに、やりがいと使命を果たせた喜びを感じました。使う方の環境は多種多様。時代・ニーズに合わせて、バイク・サイクルを快適に楽しめて人の命をしっかり守れる商品をこれからも世に出し続けたいと思っています。

澁谷 仁志



営業部

営業部は代理店との連携を通じてKabutoヘルメットを多くの人へ届ける役割を担っています。
日々の活動の中で各企業だけでなく、ユーザーニーズも直接聞きながら、商品企画に反映。販売店や他企業とともにユーザーのために何ができるのかを追求し、守ることに対する信頼をつくっています。

これまでの実績と社会課題を解決したいという想いが、販売店やユーザーからの信頼に繋がると考えています。ヘルメットという「物」だけでなく、啓発活動や人の心を動かす活動を通して、すべての人々の安心と安全を支え、明るい未来を作りたいと考えています。

山本 佳祐

完成した製品は全体を細やかに点検し、お客様からの修理依頼にも心を込めて対応しています。顧客満足度の高い製品をしっかりと点検し出荷することで、ユーザーとの信頼関係を築き、より多くの人に安心・安全なKabutoヘルメットを届けたいと思っています。

村井 恭成



製造部

Kabutoの全商品の製造と検品を担う製造部。
さまざまな製品の組み立てを行ったり、完成した商品は傷・汚れ・部品不足がないかを点検したりしています。さらにはお客様が購入した後のアフターサポートとして修理も担当。まさにKabutoのブランド・品質・価値を守る要の部門とも言えます。



History

オージーケーカブト の沿革

1982

・東大阪市高井田にてオージーケー販売株式会社を設立
・一輪車ブラホイールを製品化
・小学校教育指導要綱への導入を目指す

1984

・サイクル競技用ヘルメットのサポート活動を開始
・ロサンゼルス五輪自転車スプリント競技で坂本勉選手が銅メダルを獲得
・自転車競技で日本人初のメダリストとなる

1986

・道路交通法の改正でオートバイ運転時のヘルメット着用が義務化
・本社を東大阪市御厨へ移転
・世界選手権自転車競技大会個人スプリントで中野浩一氏が「CH-202」を着用し、10連覇を達成

1990

・日本自転車競技連盟 (JCF) がレース時のヘルメット着用を義務化
・サイクルヘルメットにおけるJCF認定を国内初取得
・トリアスロン選手にサイクルヘルメットのサポートを開始
・オートバイヘルメットのベンチレーションに「負圧システム」の実用新案を取得

1991

・初の自社設計によるオートバイフルフェイスヘルメット「RS-1」を発売

1992

・一輪車が小学校学習指導要綱3・4年体育選択授業科目に採用され国内シェアNo.1になる
・オートバイヘルメットの販売チャネルを用品プロショップへ本格展開開始
・橋本聖子選手が夏季バルセロナ五輪自転車トラック競技に出場し、日本代表スペシャルエアロヘルメットを着用
・トップベンチカーパーを装着し「負圧システム」を採用したオートバイヘルメット「RS-1R」を発売

1994

・初のスポーツアイウェア「QART」発売、国際メガネ展に参加
・国際自転車展、大阪モーターサイクルショーに本格参加
・東大阪市長田西にヘルメット工場を設立

1995

・オートバイ雑誌の最高速チャレンジ企画に専用エアロコンセプトモデル「RG-X MAX」を試作使用

1996

・アトランタ五輪自転車トラック競技でカーボンエアロヘルメットを着用した十文字貴信選手が銅メダルを獲得

1997

・中国工場 (山東省青島) でのヘルメット生産を開始

1998

・空力特性を考慮した世界初のエアロフィン搭載オートバイヘルメット「ラグレス」を発売
・オートバイレースの世界選手権で菊池寛幸選手 (GP125クラス) が、初の表彰台3位を獲得

1999

・サイクルヘルメット「リアクター」で初のインモールド製法を実現

2000

・チャイルドサイクル用としてSG規格を取得したキャラクターヘルメットを開発
・自社初のFRPシェルを用いたオートバイフルフェイスヘルメット「FF-3」を発売

2002

・日本自転車競技連盟 (JCF) にスポンサーとして正式契約
・日本ナショナルチームに供給を開始

2004

・アテネ五輪自転車トラック競技チームスプリント種目 (長塚智広選手 / 伏見俊昭選手 / 井上昌己選手) で銀メダルを獲得

2005

・オートバイレース全日本選手権GP125クラスで菊池寛幸選手が年間チャンピオンに輝く

2006

・社名を「株式会社オージーケーカブト」に変更
・東大阪市長田西に本社を移行
・物流センターを東大阪御厨から東大阪衣摺へ移行
・オートバイ世界耐久選手権鈴鹿8時間耐久ロードレースで「FF-4」を着用する辻村 猛選手が優勝

2007

・空力特許デバイス「ウェイクスタビライザー」を採用したオートバイヘルメット「FF-5」を発売
・通気性と軽量を両立したサイクルヘルメット「MOSTRO」を発売

2008

・道路交通法の改正で13歳未満のサイクルヘルメット着用努力義務化
・チャイルドヘルメットシェアNo.1を確立する

2009

・自社風洞実験設備を設置
・オープンフェイスタイプのオートバイヘルメット「AVAND」を発売
・サイクルレースの最高峰「ツール・ド・フランス」参戦チームブイグテレコムをサポート

2010

・オートバイレース国内最高峰において「FF-5V」を着用する秋吉耕佑選手 (JSB1000クラス) が年間チャンピオンを獲得 (2011年と2年連続)
・経済産業省が推進する「キッズデザイン賞」において「チャイルドメットシリーズ」が最優秀大臣賞を受賞

2012

・オートバイヘルメットに国内初のインナーサンシェードを搭載した「KAMUI」、軽さを追求した「AEROBLADE-3」を発売
・ロンドン五輪自転車トラック競技で「エアロ-SL」を着用するサイモン・ヴァン・ヴェルトホーヴェン選手 (ニュージーランド) が銅メダルを獲得

2013

・サイクルチーム最高峰カテゴリーとして三大ツールに参戦する、イタリアのチームランプレをサポート

2014

・オートバイヘルメットに日本初のECE/MFJ規格ダブル取得したモデル「RT-33」を発売

2015

・愛媛県の県立高校生全員に通学用ヘルメットを供給

2016

・リオデジャネイロ五輪自転車トラック競技においてカルム・スキナー選手 (イギリス) が金 / 銀メダルを、アジズル・アワン選手 (マレーシア) が銅メダルを獲得

2019

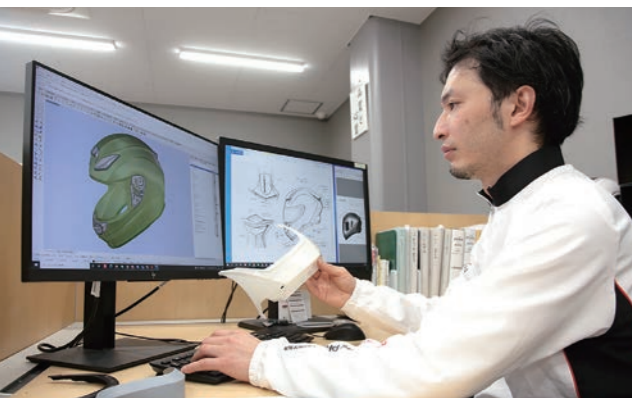
・日本パラ陸上競技連盟とスポンサー契約、日本代表選手にサイクルヘルメットを供給

2020

・警視庁「交通功労者等表彰」において、特別優良団体として表彰

2021

・東京五輪自転車競技。東京パラ陸上競技で、国内外の選手が金4個を含む計11個のメダルを獲得
・サイクルヘルメット「CANVAS-URBAN」が日本インダストリアルデザイン協会 (JIDA) のデザインミュージアムコレクションに選定



Company Outline

会社概要

会社名	株式会社オージーケーカブト
所在地	・本社 〒577-0016 大阪府東大阪市長田西6-3-4 TEL : 06-6747-8031 FAX : 06-6747-8023 ・衣摺工場 大阪府東大阪市衣摺
海外工場	中国工場(青島科福多安全用品有限公司)
海外販売会社	Kabuto KOREA Co.,Ltd.
取扱い製品	・オートバイ用ヘルメット各種 ・自転車用(スポーツサイクル、競技専用) ヘルメット各種 ・日常用(幼児・児童、通学、エルダー) ヘルメット各種 及び周辺用品
ISO認証取得	 ISO9001:2015 認証取得
資本金	2,000万円
社員数	122名(2023年11月現在)
会社設立	1982年(昭和57年)9月
関連企業	オージーケー技研 株式会社 株式会社 韓国OGK



本社



衣摺工場



中国工場



www.ogkkabuto.co.jp



Instagram



X



YouTube



Facebook

